

会 議 録

| | |
|--------|---|
| 会議の名称 | 第8回一般廃棄物処理施設整備検討委員会 |
| 開催日時 | 平成30年5月21日(月) 午後1時30分から午後3時30分まで |
| 開催場所 | 能代山本広域交流センター 第1研修室 |
| 出席委員等 | <p>【委員】 鶴田 俊 公立大学法人秋田県立大学 教授 濱田 雅巳 公益社団法人全国都市清掃会議 技術部長 川村 之聡 秋田県 生活環境部環境整備課 課長 藤田 定 能代市 (委員長) 宮腰 慶聡 能代市 淡路 和春 藤里町 淡路 高江 藤里町 加賀谷 道則 三種町 (副委員長) 平塚 三千男 三種町 辻 正英 八峰町 金平 公明 八峰町</p> <p>【オブザーバー】 宮野 弘幸 能代市 環境産業部 次長 村岡 徳一 藤里町 生活環境課 課長 高橋 泉 三種町 町民生活課 課長 佐々木 高 八峰町 総務課 課長</p> |
| 欠席委員等 | なし |
| 事務局職員等 | <p>【能代山本広域市町村圏組合】 事務局長 袴田 功 事務局次長 安井 宗弘 環境衛生課 課長 有山 勇 環境衛生課 課長補佐 田村 典勝 環境衛生課 主査 笹村 敬之</p> <p>【説明補助員】 一般財団法人日本環境衛生センター 環境事業第一部 部長 佐藤 幸世 環境事業第一部 事業推進役 是則 恭士 環境事業第三部 環境事業課 課長 池本 久利 環境事業第一部 建設指導課 係長 和田 文裕</p> |
| 次 第 | 1 開会 2 委員長あいさつ 3 案件 |

| | |
|------|---|
| | <p>(1) 三次選定について</p> <p>(2) 用地選定に係る検討結果報告書について</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p> |
| 配布資料 | <p>資料1 三次選定について (案)</p> <p>資料2 一般廃棄物処理施設の用地選定に係る検討結果報告書 (案)</p> |
| 発言者 | 案件・発言・結果等 |
| 事務局 | 1) 開会 |
| 委員長 | 2) 委員長あいさつ |
| 事務局 | 3) 案件 |
| 事務局 | <p>(1) 三次選定について</p> <p>〈 資料1に基づき説明 〉</p> <p>第7回検討委員会において、二次選定により14箇所の候補地から7箇所の候補地に絞り込んだ。また、三次選定については、経済性に関連する評価項目を設定し、比較評価を行い、二次選定の評価と合わせて2～3箇所程度の有力候補地を選定することとした。</p> <p>三次選定の評価結果(案)、二次選定及び三次選定の評価結果(案)を作成し、また選定過程における利点及び課題を整理したので、この資料を踏まえて、有力候補地を選定していただきたい。</p> |
| 委員長 | 二次選定及び三次選定の評価結果(案)、利点や課題等を踏まえながら、ご意見、ご質問をいただきたい。 |
| 委員 | 表3「エ. その他」の項目において、既存施設を解体して整備する候補地は、施設整備期間中に委託処分が必要となるため、現行の運営費と比較している。その際、既存施設の解体費はどの候補地に施設を整備しても必要となるため除いているが、全ての候補地に解体費を計上するか、旧焼却施設の解体に伴う交付金を除いて比較した方がよいのではないかと。全ての候補地に解体費を計上して比較すると、三次選定の評価での順位は変わらないが、事業費が大きくなることにより点差が縮小することになる。 |
| 事務局 | 三次選定の経済性の評価では、造成費等土地の条件によって差がでる項目に着目して比較しているため、同額となる解体費は除いている。経済性の評価を重視して30点の配点としており、ある程度点差がつくような評価としている。参考として、解体費や最低限の津波対策費を加えて計算しても、点差は縮小するが上位の順位は変わらない。有力候補地の選定に当たっては、点数による評価のほか、現地踏査、候補地の利点や課題も踏まえて選定することが考えられる。 |
| 委員 | 既存施設のある候補地は必ず解体しなければならないが、その他の候補地では経済的な理由により残しておく可能性があることから、条件が異なる。しかし、将来的には解体が必要になるということであれば、全ての候補地に解体費を計上すべきではないかと思う。 |

| | |
|--------|---|
| 事務局 | <p>ここでの評価としては、施設整備に伴い焼却施設を解体する場合は交付金の対象となり、その交付金を活用して解体すると、施設整備期間中に不燃ごみを委託処分したとしても、費用に大きな差がないという結果を示しているものである。</p> |
| 委員 | <p>これは考え方の問題だと思う。用地選定をするためには、評価に差を求める必要がある。その場合、事業費における共通費を除くということは基本だと考える。どの候補地に建設することが、一番経済性が高いかという判断をしようとしていることから、候補地を選ぶためにはこのような評価方法があると思う。</p> <p>もうひとつ申し上げたいのは、トータルとして捉えるべきである。点数による評価のほかに、利点や課題が記載されているが、課題によって重みに大きな違いがある。3位の候補地は有効敷地内にも急峻な箇所があると記載されているが、4月に実施された現地踏査では、かなり厳しい条件だと感じた。4位と5位の候補地は、ここだけ特有な津波対策費が必要となる。また対策により狭い土地がさらに狭くなり、非常に使い勝手の悪い施設になりかねない。</p> <p>3位以降の候補地は、大きな制約条件やリスクを伴う課題が含まれているため、十分慎重に考えなければならない。この評価の順位とリスクを考えても、最適な候補地であるという結果が一番良い。リスクが少なくて建設の容易性の高いところが良いという点では、上位2箇所は妥当な候補地だと思う。</p> |
| 委員長 | <p>トータルで候補地を選定していくという、今のご意見は非常に意味があると思う。</p> |
| 委員 | <p>三次選定の評価結果(案)において、費用のうち大きな割合を占める「⑩用地の造成費等」を総額で比較すると、高額となるグループと安価なグループの2つに分かれる。敷地内の高低差が大きい候補地と標高が低くて津波の影響を受けやすい候補地は、費用が高くなる。その候補地を除いた候補地が上位になっており、評価結果(案)は妥当だと思う。ここは経済性に大きな差があることがわかる結果になっていると思う。</p> |
| オブザーバー | <p>1位の候補地の利点に「⑥隣接施設と連携した取組により、余熱利用や環境教育への活用が期待できる。」と記載されているが、これは一次選定から三次選定までのどの評価によるものか。</p> |
| 事務局 | <p>4月に実施した現地踏査の際に、委員からいただいたご意見である。</p> |
| 委員 | <p>3位の候補地は有効敷地内にも急峻な箇所があり、造成しても平らな土地の面積を確保できないおそれがあるというリスクがある。4位と5位の候補地は、津波対策でさらに費用がかかることと、面積を確保できないおそれがあるというリスクがある。6位の候補地は、毎年運搬コストが高くなり、大きな負担となる。7位の候補地は、埋蔵文化財が確認されると施設整備の工期に影響を与える。そういうリスクを抱えていることを、検討委員会としても評価しなければならない。候補地固有の大きな課題やリスクがある項目は、普通に横並びとする項目と分けて、別書きにすべきである。(資料1は、ご意見により別書きに修正している。)</p> |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | <p>先程の既存施設の解体については、施設整備にあわせて解体すると、その費用が交付金の対象となり、速やかに解体できる。また、他の候補地の場合は、解体時期を検討して別事業として行うことが考えられる。</p> |
| 委員 | <p>解体費が交付金の対象となるメリットは、この中でも特別の重みがあると思われる。また、点数だけではなく中身をよく見て、選定の理由付けをしっかりとしなければならないと思う。</p> |
| 委員長 | <p>その他ご意見があれば、お願いしたい。</p> |
| 委員 | <p>上位2箇所の候補地への運搬を考えると、八峰町は現在の焼却施設より近くなるが、三種町からは遠くなる。また、降雪時の運搬が心配であるため、藤里町も含めて運搬経路を検討する必要があると思う。</p> |
| 委員 | <p>津波対策は大きな要素であり必要なことは理解できるが、施設の耐用年数と津波の関係を考慮すると、どこまで対策すべきなのか疑問に思うところもある。</p> |
| 委員 | <p>降雪量の多い地域の一番の難点は運搬である。上位の候補地周辺は比較的よいかもしれないが、冬期間の除雪対策を考えていただければ助かる。 また、既存施設を解体する際に、財源不足にならないか構成市町の財政面も心配である。</p> |
| 委員 | <p>1位の候補地については、以前は焼却施設もあったところで、可燃ごみと不燃ごみを一緒に処理できれば最高の施設だと思う。4位と5位の候補地がよいと思っていたが、津波対策でかなり費用がかかるため難しいと感じた。昭和58年の日本海中部地震の津波を考えると、1位の候補地の津波対策をもう少し検討してもらいたい。 また、6位の候補地は運搬コストが高くなって難しいと思うが、運搬面では4位と5位の候補地がよいと思う。</p> |
| 委員 | <p>1位の候補地周辺には活断層があるので、再度調べた方がよいと思う。また、資料の津波の浸水想定高さは低いように感じており、その点の対策も加味していく必要があると思う。</p> |
| 委員 | <p>民家の解体費でも高いが、公共施設の解体費はさらに高額になると思われる。解体せずに施設が残って、事故が起きると責任問題になるため、施設整備と一緒に解体できれば理想的だと思う。また、4位と5位の候補地は津波を想定すると難しいと思われるため、点数以外を考慮しても、妥当な順位になっていると思う。</p> |
| 委員 | <p>二次選定までは大きな差はなく、三次選定の造成費で差がついている。全体的に考えると、点数の差はともかくとして、妥当な候補地が上位になっていると思う。</p> |
| 委員長 | <p>これまでのご意見を踏まえて、有力候補地を選定したいと思うが、よいか。</p> |
| 委員 | <p>(異議なし)</p> |

| | |
|-----|---|
| 委員長 | それでは、この順位をもとにしながら有力候補地を選定したいと思うが、いかがか。 |
| 委員 | 順位はこのとおりでよいと思うが、1位と2位の候補地は場所が近い。もう1箇所として、場所が離れている4位の候補地を入れてもよいと思うが、他の委員のご意見を伺いたい。 |
| 委員長 | 1位と2位の2箇所の候補地とするか、もう1箇所離れた場所を加えて3箇所とする方がよいのか、ご意見をお願いしたい。 |
| 委員 | リスクをどう考えるかである。候補地の配置のバランス論というのはわかるが、3位以降の候補地はリスクがある。そのことを考えると、この検討委員会としては、1位と2位の候補地を選定すべきではないかと思う。リスクのない候補地を選定するのが妥当な考え方だと思う。例えば4位を挙げたときに、どう扱うのが難しい。1位と2位は横並びでもよいと思うが、3位以降は横並びではない気がする。候補地が近いということはあるが、行政区域は異なっているので、この2箇所でよいと思う。 |
| 委員 | 今のご意見はそのとおりだと思う。行政側としては、離れた場所の選択肢があった方がよいのかなという意味で4位も入れたらどうかという話をしたが、津波のリスクを考えると、1位と2位だけでもよいと思う。 |
| 委員長 | 事務局としてはどう思うか。 |
| 事務局 | 4位の候補地については、委員から津波対策費や土地の面積などの課題に対するご意見を伺って、津波を想定すると、点数づけだけの話ではないと感じた。 |
| 委員長 | これまでの委員のご意見をまとめると、1位と2位の候補地が有力候補地にふさわしいということになると思われるが、この2箇所でよいか。 |
| 委員 | (異議なし) |
| 委員長 | 検討委員会では、1位の八峰町峰浜沼田地区、2位の能代市竹生地区を有力候補地に選定することとする。 |
| 委員長 | 次に、案件(2)の用地選定に係る検討結果報告書について、事務局から説明をお願いします。 |
| 事務局 | (2) 用地選定に係る検討結果報告について < 資料2に基づき説明 > 資料2のうち、三次選定に関する部分については、案件(1)で決定したとおりに記載する。 候補地の利点及び課題については、案件(1)でご意見があった大きな制約やリスクを伴う課題は別書きに修正し、有力候補地2箇所を記載する。 |
| 委員 | 案件(1)の三次選定において断層や津波の話があったが、断層については産業技術総合研究所等の地質図を見ると、どの候補地も同じ状況であ |

| | |
|------------|---|
| | <p>り、津波の浸水深で差がついてくる。津波については、秋田県地震被害想定調査報告書を参考としているが、今回絞り込んだ候補地がよいということがよくわかる。選定結果と資料が整合しており、説得力のある報告書にまとまっていると思う。</p> |
| <p>委員長</p> | <p>他にご意見がなければ、案件（１）で決定したとおりに報告書へ記載することとし、その内容を委員長と副委員長が確認することによいか。</p> |
| <p>委員</p> | <p>（異議なし）</p> |
| <p>委員長</p> | <p>そのように決定し、後日報告書を組合理事会へ提出する。</p> <p>4）その他</p> |
| <p>事務局</p> | <p>委員の皆様には、候補地の選定ということで報告書をまとめていただきましたが、この後、組合議会並びに地元住民の方々に説明をさせていただいて、最終候補地を決めることとなります。</p> <p>検討委員会は、平成２８年からちょうど２年間になりますが、皆様にはお忙しいところ真摯に御協議いただき、また、先進地視察、現地踏査においても御協力、御指導賜りまして、本当にありがとうございました。皆様からいただいた報告書をもとに、これから圏域住民にとって衛生的で安全・安心な施設を着実に整備してまいりたいと思いますので、今後とも引き続き御指導、御鞭撻賜りますようよろしくお願いいたします。本当にありがとうございました。</p> |
| <p>委員長</p> | <p>私からも最後に一言申し上げます。これまで司会進行し、会議をまとめてまいりましたが、皆様の御協力に関し、改めて御礼を申し上げます。</p> <p>組合では、これから廃棄物処理施設の整備を進めることとなりますが、地域住民や組合議会へ説明し、より良い施設を建設して、地域住民の環境衛生向上のために御尽力くださるようお願いをいたしまして、会議を閉じさせていただきます。ありがとうございました。</p> <p>5）閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p> |